

第2回 介護・医療連携推進会議 議事録

日時	令和2年 10月 14日
場所	コロナ対策の為書面会議にて施行
参加者	利用者様ご家族 2名 九州鉄道記念病院 MSW 1名 地域包括支援センター小倉1 1名 民生委員 1名
検討議題	①サービス提供実績 ②事故報告 ③活動内容報告 ④自己評価 * 別紙参照 ⑤ご意見・まとめ

①サービス提供実績 (令和2年4月～9月)

	R2.4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数(人)	45	41	42	43	43	43
内訳 要介護1	10	10	11	11	12	13
要介護2	4	4	4	4	5	6
要介護3	13	11	10	11	10	9
要介護4	15	15	13	13	13	11
要介護5	3	1	4	4	3	4
定期巡回 月間訪問回数(回)	4064	3880	3816	4268	3932	4092
内訳 介護	2984	2884	2920	3172	2968	3008
看護	1080	996	896	1096	964	1084
随時対応 訪問回数(回)	33	73	97	130	113	78
内訳 介護	23	54	87	118	57	39
看護	10	19	10	12	56	39
利用者一人当たりの 平均月間訪問回数(回)	91	96	93	102	94	97
内訳 介護	67	72	72	77	70	71
看護	24	24	21	25	24	26

②事故報告

	R2.4月	5月	6月	7月	8月	9月
転倒	4件	2件	1件	1件	2件	0件
誤薬	0件	0件	0件	0件	1件	0件
怪我(表皮剥離)	0件	0件	1件	1件	0件	0件

<対策>

1転倒について

- ・その都度ケアマネージャーへ連絡し、センサーマットの導入や、離床センサーなどの導入を相談し対応。
- ・転倒リスク高い場合は抑制同意書を頂き、4点ベッド柵利用やミトンの着用を検討する。

2.誤薬について

- ・薬チェックの徹底と、薬剤内容確認の際は一度利用者様から預かり、渡したままにしないよう注意する。

3.怪我について

- ・移乗時の怪我のリスクを減らすため、環境整備の徹底を行う。
- ・一人で介助が困難な場合は、無理をせず協力を得る。

③活動内容報告

* 消防訓練

令和2年3月18日(水)

参加人数:職員 5名 入居者:10名

夜間2階倉庫より出火の想定で実施

その後は、コロナウィルス感染症対策のため実施できていない。

* 研修参加 (R2年4月～R2年9月)

介護職員:コロナウィルス感染症対策のため研修中止が続き、徐々にオンライン研修の募集が始まった為6月 1件・8月 1件 外部研修参加。その後施設内にて伝達研修実施
11月に1件 オンライン研修参加予定。

看護職員:コロナウィルス感染症対策のため研修中止が続きオンライン研修の募集もあまりなく参加できていない。

その為、ステーション内で感染対策、救急対応などの勉強会を実施している。

* 安全衛生委員会 毎月1回実施

- ・感染症対策マニュアルの見直し
- ・新型コロナウイルスへの対応
- ・抑制実施中の方の評価を実施

④自己評価 * 別紙参照

⑤ご意見・まとめ

(1)巡回ステーションつむぎ 自己評価について

- ・個々の患者に細やかな状態把握を行い個別性のある看護・介護の提供に努めている。
- ・正しく評価されている。
- ・個々に対応した適切な介護看護が行われている。
- ・計画の見直しも行われている為良い。
- ・地域への情報発信が少ないため、今後の取り組みに期待している。

(2)サービス提供実績・事故・活動状況 報告について

- ・事故報告について細やかに対応している。今後も継続して欲しい。
- ・訪問回数を数字で見るとよく対応してくれていると分かる。
- ・オンライン研修など今までと違う形式だが、今できる事を実行されていて良い。
- ・細心の注意を払っていても事故は起こる可能性があり、事前の訓練や研修は重要な為十分な対策を続けて欲しい。
- ・医療・介護・看護の整った環境であることが分かった。

(3)その他、ご意見等

- ・面会ができないのでリモート等でデイサービスの様子や部屋での過ごし方を見せてもらえれば安心する。
- ・近隣の方は建物しか見えておらず、職員や入居者との交流ができればよいと思う。